

学習指導案

日 時	令和8年1月6日（月）第1限目	指導者	
教科（科目）	原動機	単元名	流体機械の基礎
指導クラス	2年2・3組	使用教材	原動機（東京出版）
単元の目標	完全流体における保存則を理解する	本時の位置	3 / 3 時間目
本時の主題	第3章 内燃機関3節 レシプロエンジンの作動原理と熱効率		
本時の目標	自動車・内燃機関に興味関心を持ち、探求できるようにする		
学習活動に即した単元の評価基準	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	各種のレシプロエンジンの作動原理を把握して、各エンジンのサイクルと熱効率などの関係を理解し、これらのいろいろな場面での活用方法を理解している。	各種のレシプロエンジンの作動原理を把握して、各エンジンのサイクルと熱効率などの関係を理解し、これらのいろいろな場面での活用方法を説明することができる。	各種のレシプロエンジンの作動原理を把握して、各エンジンのサイクルと熱効率などの関係を理解して、これらをいろいろな場面で活用しようと探求している。

事前準備について

①ボンネットの開け方指導 ②車検証の見方指導 ③PowerPoint課題の作成 ④PowerPointデータの提出

①～④の準備に対して、2限使用しています。

○学習の展開

時間	学習内容 (指導のねらい)	学習活動 (・は教師の活動 ○は生徒の活動)	評価規準	評価方法
5分		○タブレットの準備 ・グループ分けを実施 8名×5グループ		
20分	自動車に興味関心を持ち、自家用車のアピールを他の生徒へ向けて実施する。	○グループ内での発表準備 ○発表はタブレットを使用 ○（発表生徒）タブレットを使用して、自家用車のプレゼンを実施（持ち時間2分） ○（聴講生徒）プレゼンテーションを評価 ○グループ内の高評価者を選出	主体的に学習に取り組む態度	発表の観察
20分	各グループの代表者の発表を聞くことで、プレゼンテーション内容を学ぶ。	・代表者8名による指示 ○（発表生徒）発表内容をプロジェクターに投影し、全体へ向けて発表を実施 ○（聴講生徒）自身のグループ以外の代表発表者を評価	主体的に学習に取り組む態度	発表の観察
5分	まとめ	・今回調査した総排気量は、次回の学習で活用していくことを説明		